委員会視察報告

基地対策特別委員会管外調査視察報告

7月6日～7日

粘り強い交渉で、国の当初案を覆す

宮崎県新富町・航空自衛隊新田原基地

基地対策特別委員会は7月6日、7日、宮崎県新富町および航空自衛隊新田原基地への管外調査視察を実施した。昨年秋、防衛省九州防衛局から騒音コンターの縮小案が示されたが、これまで新富町と新富町議会が騒音コンターの拡大を求めてきたことと真逆であり、国の案に反発の声が高まった。新富町はすぐさま周辺自治体、県とも連携の上、国との直接交渉を開始し、粘り強い交渉の末、ついには国は当初案の「事実上の白紙撤回」「今後は地元の声をよく聞き丁寧な対応を約束」という電撃的な結果となった。今回の新富町視察を通じて、国への直接交渉も行い、当初案を覆したという経緯と気概を学ばせていただいた。瑞穂町議会としても、わが町が抱える横田基地対策に活かしていきたい。

◎原　成兆　○齋藤　成宏
近藤　浩　森　亘
髙水　永雄　下野　義子
村上　嘉男
小山　典男（議長）
◎委員長　○副委員長

厚生文教委員会

民生委員との懇談会を開催

9月11日㈪、議会全員協議会室において、民生委員正副会長ならびに高齢者担当部会長を中心とした11名の委員の皆様と委員会委員８名で初めてとなる懇談会を開催しました。

瑞穂町には36名（内２名は主任児童員）が町の福祉向上のために活動されているとのことで、懇談会は２時間におよび、日頃の活動や苦労していること、様々なご意見を伺うことができました。今後の委員会活動に活かしていきたいと思います。

民生委員・児童委員

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、住民の生活状態の把握、援助・支援を必要とする方々への相談や助言、および必要に応じて情報の提供を行っている。児童委員は、町内の児童（18歳未満）、妊産婦、ひとり親家庭の方々の実態調査、相談・支援、児童虐待などの取組などを行っている。

総務産業建設委員会

現場の声を聞きました

9月21日㈭、商工会役員の皆様と懇談会を行いました。これは、新たな議会構成になって、委員会として特に注視する事業に「町の活性化」を上げたことを受け、現場の声を聞いていこうという趣旨で行ったものです。

メンバーの方々からは、現状やそこから見えてる課題、町との関係性や議会とのかかわり方など様々なご意見を伺うことができました。一回にとどまらず、会を重ね活性化への道に繋げていきたいと思います。

交通対策特別委員会

交通不便地域の解消に住民から強い要望

～元狭山地区の町内会連合会との意見交換会～

８月24日㈰、元狭山地区町内会連合会からの要望を受けて、元狭山コミュニティセンターにおいて、意見交換会を開催しました。多くの方が参加され、３班に分かれてグループ討議形式で行いました。

それぞれのグループからは「交通が不便なために、若い世代が町外へ流出している」「コミュニティバスはできないのか」「バスが土日に１便しかない」といった様々な意見がありました。委員会として検討を重ね、提言も視野に活動してまいります。